

の表層は黑色の有機物を含む粘土層から成り、平野中を流れる川の岸壁には水平の沖積土の累層を認める。平野中の諸所に芦苇の生育せる沼状の地がある。尙ほ同氏によれば此の忍野湖はもと山中湖と相通じて凹字形を成したものが鷹丸尾熔岩の爲めに兩斷されたものであるといふ

街村の例 裾野の東北隅を占める吉田と河口湖畔の河口との二つの街村が圖上に目を惹く。吉田は中央線大月驛から發する電車の終點で富士の登山口として發達した街村で裾野北縁及び

東縁部に於ける交通の要點に當る。河口は舊鎌倉街道に當り御坂峠を上下する人馬の休憩所として發達した街村である。吉田が新しい交通機關の恩澤によつて益々發展するに反して、河口は甲府盆地岳麓地方間の交通運輸が今は御坂峠を避けて中央線及び富士山麓電氣鐵道の便を利用するが爲めに昔日の繁華の面影を失ふに至つた。今でも稀には峠を攀ぢ登る頭上に時ならぬ駄馬の鈴の響が起つて昔懐しい感じを喚びさされる事がある。(春本)

伊太利ところぐ (八)

瀧川規一

【亞米利加發見を報ずる最初の手紙】 ジュアナ島を一直線に西から東へ三三二哩進んだことを申し上げましたが、その道程から判斷しますとこの島は英蘭及で蘇格蘭を合したもののよりも

大であると云ふことが出來ます。既に述べました三十二萬二千歩の島の他に西方に當つて二つの國がありますが未だ訪問しませぬ。一の國をアナン(Anan)と印度人は呼んでゐます住民は

皆尻尾をもつて生れて居ます。これ等の島のことを能く知つてゐる同居の印度人から聞き知つた處によりますとその島の延長一八〇哩に及んでゐます。ヒスバニア島の周圍はコロニア(Colonia)からフオンタラゴア(Fontarabia)に至る全西班牙國よりも大きくあります。このことは一直線に西から東へ通つた側丈けでも延長五四〇哩ありますから容易く證明されます。この島は非常に有望な島であり蔑視してはなりません。この島こそ望ましき島であります。既に申しました如く至高無敵の吾々の國王の爲めにこの島の全部を占領し、その統治をその地の國王に委任して居ります。尙位置上都合よき大都會を特に占領し凡ゆる利益と通商とに適合せしめ、基督『降誕の主』(Nativity)の名を以て命名し、城寨を築造することを命じて置きました。今頃は城寨は出来上つて居るに違ひありません。城寨には凡ゆる種類の武器、一箇年以上支持し得る糧食、及び必要であると思ふ人數を留めて置きました。また一艘のカラベル船を遺

して置きました。もう一艘の船を建造せんが爲めに、その仕事に熟練した者共及び精神的職業に堪能なる人々をも後に遺し、國王が示して呉れた非常なる友誼と好意とを後に遺して歸國致しました。島人は愛嬌に富み親切であり國王は私を呼ぶに兄弟と呼んで居る程であります。島人は武器を有せず悉く裸體にして臆病であるが故にたとへ變心を起し城寨に立籠れる者等に危害を加へんと欲しても不可能なことであります。籠城者等が與へられたる規律命令を破らざる限り身に危険を直に招くことはなく、全島人に容易く對峙することが出来ます。これ等の諸島では私の聞く處では一夫一婦で満足し、王侯のみが二十人の妃をもつことを許されてゐます。婦人は男子よりも多く働き島人は私有財産を有するや否やは明確ではありません。斯く申し上げます所以は一人の男子が菓子果物糧食その他を分配する役目をもつてゐることを知つたからであります。故國で人々が想像して居るやうな怪異な形相の人間を決して發見しません。島人は悉

く恭敬な態度を持ち友愛に富んだ人間であります。また彼等はエシオピア人種程には黒くありません。彼等の頭髮は縮毛でなく、毛髪を長く垂らしてゐます。太陽の光線が熱氣を浴せ直射するが如き處には彼等は佇立するを避けます。赤道線から僅に二十六度しか距つてゐない土地であります。山岳の頂上は寒氣凜烈であります。印度人は緩和手段として先づ風土に馴れることをつとめ第二に食物を屢多量に攝取し殊に非常に暑い食物をとります。島々には決して怪異なものを見ず何處にもそんなものを見たことがありません。カリス (Charis Dominica) と稱する島に就いて聞いた話があります。ヒスバニアから印度に渡る二番目の島であります。この島には好戦人種であると隣島人から思はれて居る種族が棲息して居ます。島人は人肉を喰ひ種々なる船を所有し隣島に渡り手當り次第物品を奪ひ去ると噂されて居ます。然し實際は他の島人等と少しも異つた處がありません。男子は女子の如く頭髮を長く垂らし蘆にて作れる矢と

投槍とをもち、矢の尖端には尖つた鏃をつけて居ます。それが爲めに彼等は好戰的であると考へられたのであります。

私は彼等とて他の島人同様大したものではないと考へて居ます。この種族はヒスバニアから印度に到る最初の島であるマルチニン (Martinique) に主として住んで居り男子が婦人の許に訪れ行く風習をもつて居る島民であり、女子は何等女性としての働きをなさず男子の如く弓と投槍とをもつて戦ひ銅製の厚板を楯として身を固めて居ます。銅は澤山産出し、前述のヒスバニアよりも大なる島であることを聞き知りましたこの島には他の島々よりも金屬が豊富に産出しこの島に限つて男女共毛髪を一切持つてゐません。私の説明を證據立てる爲めに今迄申し上げました實際に見聞して來た島々の土人を赤裸に連れて歸つて居ります。

最後に吾等一行の出發、早き歸國、及び探險の利益に關し記述を簡單にし次の約束をしたいと思います。無敵至高の國王諸侯が援助を惜ま

ず。吾々一行を支持して下さるならば、諸王侯の必要とせられる丈けの黄金、諸侯の要求せられる丈けの香料、木綿、キオス(Chios)島にのみ見出すチューイング・ガム、伽羅の木、及び海軍に必要なる奴隸とを諸王侯に供給したいと思ひます。城寨に残留せる者等は大黃その他の藥種類を見出しました。今後も見出すであります。吾々一行は吹く風が餘儀なく舟行を止めた以外にはどの場所にも長期の滞在をなさなかつたであります。只降誕の町(Nativity)では城寨を築き一行全員の安全を保持する爲めの準備が出来上るまで滞留しました。この城寨は既に今迄に目立つて大規模なものでありましたが、吾々の必要とする船舶を援助されるならば更に偉大なるものとなつたであります。この城寨は實に偉大なるものであり驚嘆す可きものであります。斯くの如き成功は單に吾々の功績でなく聖なる神の基督と吾々の君侯の奉持せらるゝ敬虔心と信仰とに依るのであります。斯く申し上げる所以は人間の理解力だけでは達成し

得ないものを神の意志が人間の努力に賦與したからであります。神の教を遵守する下僕が祈願することが、たとへ不可能なりと思爲さるる事柄であつても神は常に聽許して下さるからであります。その事實は從來人間の成し遂げ得ざりし事をこの度成し得た吾々の身に示されて居ります。これ等の島嶼に關して誰かが從來から記述したことは記事全く朦朧であり單に想像して書かれた丈けであります。未だ何人もこれ等の島を見たとは云ひませんでした。これ等の島の話は故に單に寓話に過ぎないと思へませんでした。故に、吾々に斯くの如き偉大なる勝利と賜とを授け給ふた吾々の神救主なるイエス・キリストに感謝されんことを國王皇后皇族及び基督教信者たる王國その他凡ゆる國土にお願する次第であります。この宗教的占領に對して莊嚴なる儀式を舉行し神聖なる祝典を擧げ凡ての教會は祝祭の花飾をもつて飾られんことを願ひます。從來見失はれて居た多くの人間の魂が救ひ出ださるることを豫想する時天國にあつて悦

ばるる基督が地上に於ても悦び給はんことをお祈り致します。信仰の向上を悦ぶと共に地上の事物の増加を悦ぶのであります。地上の發見は西班牙國のみならず基督教國一般にこれを分掌するのであります。吾々一行の今迄成し來たりし事柄を斯く省略に述べました。サヨーナラ。

三月十四日。リスボンにて。大洋艦隊の提督クリストファ・コロンバス(コロンバスの手帛終)

「ゼノアの墓地」ゼノヴァの郊外にカンボサント(Camposanto)として知らるる廣大なる墓地がある。墓地に行けば何となく物淋しさの感を催すものであるが巴里の南北兩墓地に訪れた時も今このカンボサントに訪れた時も淋しさの感よりも賑かさを感じるのである。方形をなす墓地の周囲は恰も展覽會の建物の如く圓蓋廊下の長さ建物をもつて繞らし入口にて入場料を徴收せられる。墓地の前半は平地にあり後半は山腹にある。幾多の墓の間は縦横に走る大小の通路をもつてし其間に點在するに綠滴るが如き橄欖の樹サイプレスの森をもつてし幾多の層をなす

花壇は深紅の花をもつて悲しかる可き空氣を緩和して居る。訪客を驚かしめるものは圓蓋廊下に内兩側に並列する幾多の記念像である。數多き立像の記念碑を一々紹介することは不可能なことであるが、そのうちにも最も筆者の印象を深からしめたもののみを述べる。

ラッジオ(Raggio)の記念像には未亡人が瞑目せる夫君の病床に侍し、悲痛に打たれ憂に沈める娘等は父親の亡骸を抱き長子は自己の妻を慰めて居る。陸まじき一家の團欒に投げ與へられた自然の悲劇である。モンタナロ(Montana-ro)の墓棺の前にはまる／＼とした兩腕をあらはし健康なる體格と福よかなる美貌とをもち伊太利北部の美人の典型とも想はるる一人の處女が聖書の説かるゝ處女の話をもつて、生命の神秘の光に油を注いでゐる。カセラ(Casella)の墓前には未亡人が亡君の肖像の眼前に一人の赤ちやんを抱き上げて亡君に接吻せしめ十歳ばかりの子供は肖像の前に祈禱を捧げてゐる。夫君を亡し二人の幼兒を育て上げなければならぬ未

亡人の心情さこそと想はれて見ぬ人ながら見る目には涙を催される。ソラリ(Solari)の墓前には今日極東で流行の尖端的エロの美人が居る。死者の亡霊を表はす天使を象徴したのだと云ふ一枚の薄布を天つ風になびかせ紗の衣は將に丰满なる肉體を離れんとし女性的天使は下界の羈絆を脱して真裸の天界に入らんとする處であるこれから察すると最近の尖端的エロ姿の流行は左程新らしきものとは想へない。これが天使の象徴であるとすれば巴里の魔窟は天國の縮圖とも云ひ得る。次はトマチ博士(Dr. Tomate)の墓である。基督が全身を現はし物故せる博士と遺兒たる娘とに祝福せる處を表はせる立像である。次にピアニチオ(Piaggio)の墓の前に佇立する。一人の天使が肉附豊かな片腕をもつて天を指し片腕は胸に押し宛てて裁きの日の喇叭をもつてゐる。亡者の靈を象徴せる天使は兩腕を胸に押しあてて指示されたる天を眺め輕き衣は天風に吹かれて生前の肉體美を暗示せしめてゐる。否肉體美の明示によつて亡者の生前を忍ば

せてゐる。次には見目麗はしき尼が病兒を膝に抱いて死者の靈に祈り病兒の健康を祈願してゐる。今暫時の佇立を餘儀なくせしめられた立像がある。これまで象徴されて來た天使は大抵女性であつた。而かも肉體美によつて墓域の悲痛なる雰圍氣に人間味の温かさを與へてゐたのである。然るに今は男性の天使が面前に立ち最終の裁きの日に吹く可き喇叭をもつて墓棺に凭れ悲愁の充ちた面持ちで兩腕を胸に當てて考へ込んで居る。胸と腕と腰部とを熟視する時は確かに女性である。然るに顔は男性の青年である。伊太利希臘の彫刻殊に神像を見る時常にこの感を抱いた。神像の肉體美に女性的筋肉をもつてしてゐる。半可通の解剖學の知識をもつても疑はしく思はれることが屢ある。今面前に佇立せる男性の天使の表情はこの墓地彫像の隨一であると聞くに及んで益疑問を深くした。青春の男性美を藝術化するに當つて彫刻家は女性美を加味したか否やの疑問である。既にミラノに於て聖母マリヤの畫像を見た時女性の手と指と

に不審を抱いた。瘠せて骨と血脈とを陽に見せたマリアの指とこれに正反對なるマリアの豊満なる手と指とを對比し畫家の理想の差異が餘りに大なることに驚いたのである。瘠せたる女性美と豊満なる女性美とが母性愛を象徵する聖母の具象化として何れが眞なりやとさへ疑つた。

天使化されたる宗教的象徴が性を超越し得るものなりと考へる時尼僧は尖端的斷髮運動を起し男僧はコスメチック・バウダの蓄髮運動を起しても律戒を忘れたる末世には有り得べき蒙昧運動の一として是認される。次は海難の犠牲者の墓である。男性的天使が僅かに腰物を蔽うて荒海に帆を操縦してゐる。二人の若き姉妹が墓前に互に手をとつて睦じく語つてゐるのが次の墓像である。伊太利式美人の寫實的描寫である。

次には『時の父』なる老人の冥想と足下に棄て置かれた頭蓋骨とが現はれる。『時の神』『死の神』の手に刈りとられる人間の運命を語つて餘りに露骨である。中年の未亡人が墓前に訪れ胸の悲を傳へて墓窖より亡君の聲を聞かんとする

立像がある。次に訪客の好奇心をそそつたものは死と生との對照せしめた『永久の戯曲』と題すべき皮肉な立像である。一は葬衣を纏つて骸骨化せる夫君であり一つは肉附きよき上半身を露出した美人である。美人は腰以下は一部は自己の腰布に一部は夫君の葬衣に纏はれ夫君に片手を握られ他の片手に全く抱かれたものの夫君より身を避けんとして跪いてゐる。死生の一蓮托生を説いた釋教の存在理由は認め得るも基督教に於ては一蓮不托生を説いたとは未だ聞かない。要するに普通人事に有勝ちな皮肉な場面である。妻の死を歎く夫君の立像もある。次に珠數を手にするお婆さんの立像がある。立像基石の銘にはゼノヴァの方言で『天候の烈しさを忍び某地の靈廟で金物類を鬻いで老後の貯蓄をなしこの記念像を建立する資金を儲け生前中より建造の用意をせしめた、妾は名をカテリナ・カムボドニコ (Caterina Campodonico) と云ひ人々渾名して百姓 (la paesana) と云ひ行商人 (ve nditrice ambulante) と云ひた』と書つてある

貧乏なる婆さんがこの立像を人並に建て以てその名を後に遺さんが爲めに一生勞苦したと云ひ得る。一宗の本山に献金せしが爲めに貧困なる世活を續ける心地も、子孫の爲めに美田を買ふ親心も同一であると思ふ時嘲笑的評言に耳を傾けるよりも寧ろ堅忍不拔の精神の尊さに頭が下るのである。次に白紗を纏える新教徒たる二人の美人の裸像がある。エロ研究者にとつて典型とすべき柔軟性と威嚴とを表象してゐる。次もまた兩手を天に向つて舉げてゐる肉體美をもつ

亡者である。その他或は永久の眼を表象する婦人或は手を取りあへる二人の女性、或は幼兒を膝に抱ける婦人或は墓石の石段に身を凭せて居る婦人或は商業界に正道をもつて進む通商の神の車輪の下に不正の凶才を押し倒せるもの或は十字架を護れる二人の天使の裸像或は菊花の咲き群れるうちに肉體美を示す若き女性と水死を表はす女性の全裸像或は自動車の爲めに犠牲となつた若き眞裸の女性が同じく裸形の愛人の爲めに抱かれ最後の接吻をなせる風俗壞亂的なもの

のなど舉げ來れば殆ど際限がない程である。人世悲哀の極致が何故に斯くも耽美主義の表現と一致すや極東人には不可解なエロ的世界を墓域の立像に見出して驚くのである。最後に愛國者たるマチニ (Mazzini) の墓に訪でて彼の偉業を忍ぶと既に墓域に半日を過してゐたのである。陰鬱なる可き墓地にあつて得た陽氣なる印象は永久に忘る可からざるものである。

新著紹介

○北安曇郡郷土誌稿 第一 口碑傳說篇 第一冊

信濃教育會北安曇部會編 四六版一九八頁

郷土研究社發行 定價八〇錢

北安曇郡誌刊行後、第二期の郷土研究が企てられ其の第一編として公にされたものが本書である。口碑傳說の數二百六十一種を山の話、池、淵、泉の話、石、地藏、石塔等の話、地名の由來、山人の生活、巨人傳說其他、社と寺の話等等的の十四の項目に分類して載録してゐる。傳說口碑から民俗學的な郷土誌を編むことは人文地理學上の一つの研究方面である。之は第一冊で數冊に上るといふことであるから此の方面の材料として學問上に重要であるべきと同時に讀み本として興味